

Y04a きみっしょん参加者の追跡調査2 -参加型体験学習の教育的効果-

斎藤 靖之(東大 ISAS/JAXA)、竹井 洋(東大 ISAS/JAXA)、小山孝一郎 (ISAS/JAXA)

宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部では、高校生を対象とした体験学習「君が作る宇宙ミッション」(以下きみっしょん)を毎年開催し、2005年に4回目を迎える(第3回きみっしょんからは総合研究大学院大学との共催)。第4回を開催するに当たって、これまで第1回から第3回までの参加者たち全員に対して追跡調査を行った結果を報告する。これまで天文教育に限らず、体験学習の参加者全員に対する追跡調査が行われたことはほとんどない。

そもそもの興味は、参加した高校生に対してきみっしょんがどのような影響を与えるのか、という疑問である。そこで参加者の現在の興味ときみっしょんに対する印象を質問し、参加者の現在の活動にきみっしょんの経験がどう影響を与えたかを調査した。以前に行った同様のアンケート(ただし対象者は第1回きみっしょん参加者6名のみ:全員が現在は大学生)では、全員が後進教育に積極的な姿勢を持つ傾向が示された(2005年春季年会)。本調査では調査の対象を過去全ての参加者(59名:高校生も含む)に拡大して結果の検証を行った。その結果を報告する。